

National Treasure
国宝公開

京都大学総合博物館 平成29年度特別展

火焰型土器と 西の縄文

Flame Pots - Jomon-esque Japan 2017-



2017年
9月9日[土]—10月22日[日]
9時30分—16時30分(入館は16時まで)
休館日 月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)
観覧料 一般 400円 高校生・大学生 300円 小学生・中学生 200円
※20名以上は団体料金を適用 ※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1人・70歳以上の方、
京都大学学生および教職員、京都府下の大学在籍の学生は無料(要証明証)
企画：「火焰型土器と西の縄文 Jomon-esque Japan 2017」実行委員会
主催：京都大学総合博物館・信濃川火焰街道連携協議会・新潟県立歴史博物館
共催：京都大学大学院文学研究科・京都大学文化財総合研究センター
後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・NPO法人シヨームネスクジャパン
京都大学総合博物館
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL(075)753-13272
<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>



信濃川火焰街道

信濃川火焰街道連携協議会
新潟市 三条市 長岡市 十日町市 魚沼市 津南町



新潟県立歴史博物館
The Niigata Prefectural Museum of History



Jomon-esque
Japan



JAPAN HERITAGE
日本遺産



THE KYOTO UNIVERSITY MUSEUM

京都大学総合博物館 平成 29 年度特別展

「火焰型土器と西の縄文」

オープニング・セレモニー

9月9日（土）

《特別対談「火焰型土器を語る」》

会場：京都大学百周年時計台記念館 2階国際交流ホール

12:30 ~ 受付開始

13:00 ~ 開会挨拶 上村憲司（信濃川火焰街道連携協議会会長）

13:05 ~ 趣旨説明 宮尾 亨（新潟県立歴史博物館）

「火焰型土器：縄文と現代」

13:30 ~ 特別対談 「火焰型土器を語る」

小林達雄（國學院大学名誉教授）

泉 拓良（京都大学総合生存学館特定教授）

14:30 ~ 閉会挨拶 吉井秀夫（京都大学大学院文学研究科）

《トーク & コンサート》

会場：京都大学総合博物館（地図参照）

15:00 ~ 15:30 ミュージアム・トーク（2階企画展示室）

佐藤雅一（新潟県津南町教育委員会）

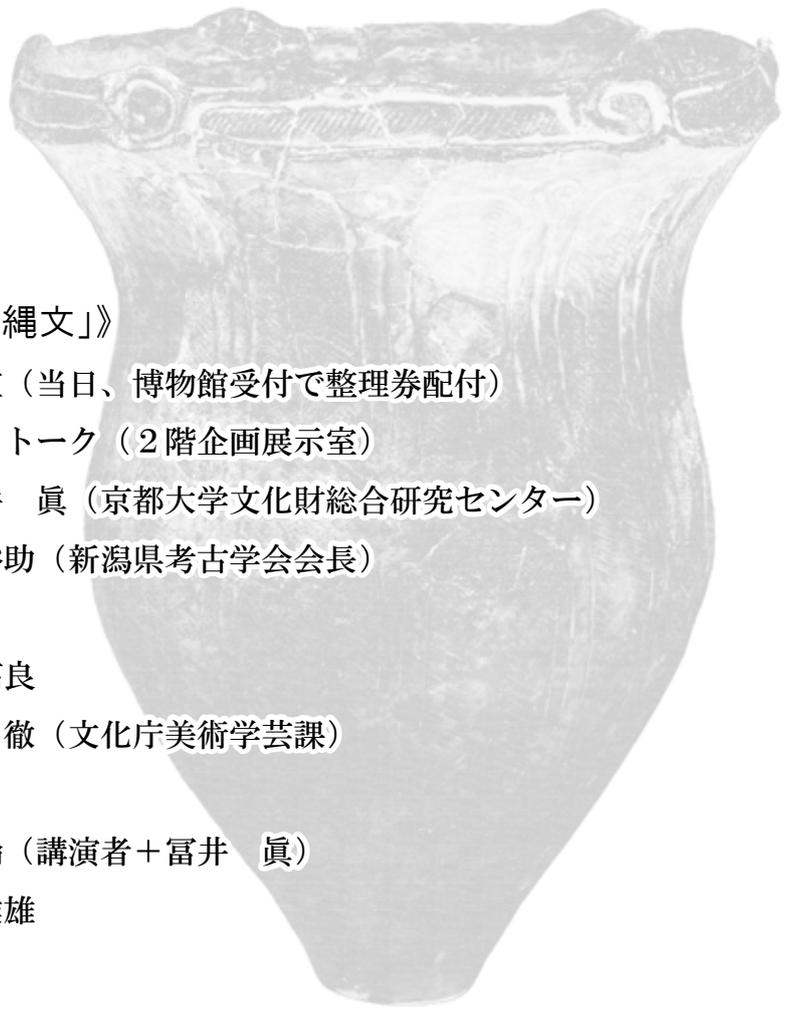
15:30 ~ 16:30 縄文コンサート（1階ミューズ・ラボ）

斎藤孝太郎（エレキチェロ演奏者）

16:30 ~ 閉会挨拶（1階ミューズ・ラボ）

岩崎奈緒子（京都大学総合博物館長）





9月10日（日）

《研究講演会「火焰型土器と西の縄文」》

会場 京都大学総合博物館講演室（当日、博物館受付で整理券配付）

9:45～10:30 ミュージアム・トーク（2階企画展示室）

宮尾 亨・富井 眞（京都大学文化財総合研究センター）

11:00～12:00 講演1 寺崎裕助（新潟県考古学会会長）

12:00～13:00 昼食休憩

13:00～14:00 講演2 泉 拓良

14:00～15:00 講演3 建石 徹（文化庁美術学芸課）

15:00～15:10 休憩

15:10～15:50 質疑応答・討論（講演者+富井 眞）

15:50～16:00 講評 小林達雄



《特別対談講師プロフィール》



こばやし たつお
小林達雄 國學院大學名誉教授・新潟県立歴史博物館名誉館長

1937年、新潟県長岡生まれ。

國學院大學大学院博士課程修了、博士（歴史学）。東京都教育庁文化課、文化庁記念物課調査官を経て、國學院大學文学部助教授、教授。1990年、濱田青陵賞受賞。

アメリカ、カナダ、イギリスの在外研究経験が豊富で、イギリス・セインズベリー日本藝術研究所フェロー、オックスフォード大学フェローなど国内外を通じて、縄文研究を行い、海外に向けて日本を紹介する縄文外交を提唱し、実践している。

現在、縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会の委員として、縄文遺跡群の世界遺産登録に注力している。同時にNPO法人ジョーモネスクジャパンを主宰し、縄文の現代的意義を発信し続けている。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの聖火台に火焰型土器のモチーフ採用を働きかけている。

著書・編著に、『縄文土器を読む』アム・プロモーション（2012）、『世界遺産 縄文遺跡』同成社（2010）、『縄文の思考』ちくま新書（2009）、『縄文人追跡』ちくま文庫（2009）、『総覧 縄文土器』アム・プロモーション（2008）、『縄文ランドスケープ』アム・プロモーション（2005）など多数。



いずみ たくろ
泉 拓良 京都大学総合生存学館特定教授

1948年、神奈川県生まれ。

京都大学大学院博士後期課程中退、京都大学埋蔵文化財研究センター助手、奈良大学助教授、教授を経て、京都大学大学院文学研究科教授、名誉教授。学生時代より、一貫して縄文文化の研究を続け、西日本の縄文時代研究を牽引してきた。京都市北白川追分町遺跡、山梨県野添遺跡、兵庫県口酒井遺跡、鹿児島県武貝塚など、重要な縄文遺跡の調査を手がけた。

また、シリア（パルミラ遺跡）、レバノン（古代テュロス）や北アフリカのリビヤ、中央アジアのカザフスタンで考古学的な調査研究をおこなった。古代フェニキアの中心都市テュロスを見下ろす地下墓から発見された「呪いの鉛板」の展示（京都大学総合博物館、2010年）は、話題を呼んだ。

縄文時代研究や海外の調査研究に基づいて、近年は、人類の生存とかわる問題を過去から学び、現代に生かす研究をおこなっている。

著書・編著に、『縄文時代（上・下）』日本の考古学3・4、青木書店（2013・2014）、『考古学—その方法と現状—』放送大学教育振興会（2009）、『縄文世界の一万年』集英社（1999）、『縄文土器出現』歴史発掘2、講談社（1996）など多数。

《縄文コンサート奏者プロフィール》



さいとう こうたろう
斎藤孝太郎 チェリスト・なじょもん縄文親善大使

人、音、空気、場所。自身の感覚を信じ、迷わずに感じるままを表現していく。彼の音楽と演奏は、まるで森で暮らす野生動物のように繊細で敏感。常識や技術論、カテゴリーにとらわれず、出会った人々、出会った情景、そして自らの神秘に純粋に音楽を捧げ続け、人々の心の奥底を刺激する不思議な力を持ったチェロ奏者。

北海道札幌市生まれ湘南育ち。日本大学芸術学部卒業。

多くの著名アーティストの楽曲録音及びLIVE演奏、PV出演、テレビ出演などに参加。また、第17回クーン歌舞伎にチェロの即興演奏で参加。故中村勘三郎と共演、WOWOWで放送される。映画『おくりびと』では本木雅弘に、台湾ドラマ『流氓蛋糕店 / ショコラ』では主演の長澤まさみにチェロ指導を行う。

2005年、トンガリキッズで徳間ジャパンよりメジャーデビュー。

2009年、P-VINE RecordsよりB-ClubでCDデビュー。

2010年、Midi CreativeよりアンクルボーイでCDデビュー。

2015年に新潟津南のなじょもん公認『なじょもん・縄文親善大使』に任命される。

日本国内で唯一エレクトリックチェロを自在に操るチェリスト。